

「環境活動実践賞」受賞!

私たちトンボみちファンクラブは、この度、市民の部の「環境活動実践賞」として横浜市から表彰されました。2009年8月から「JFEトンボみち」を活動拠点として、地域の皆さん、市民団体等と連携しながら、活動してきたことが評価されたものです。

具体的には、鶴見区の近隣の皆さんが中心に参加して行う草花の世話、野菜栽培、生きもの観察などの月例活動、トンボ池での生きもの採取、ヤゴの観察などを通して生きもの暮らしを学ぶ親子で生きもの観察会、京浜の森づくりの効果を調べるトンボはどこまで飛ぶか調査への参加、また自然環境保全に関する話題、月例活動の様子などを毎月お伝えするファンクラブ通信の発行です。



これらの活動を「トンボはどこまで飛ぶかフォーラム」、「末広地区緑のまちづくり協議会」、公園愛護会「貨物線の森ファン倶楽部」と連携して行ってきました。

これからも、2012年4月にファンクラブで制定した「JFEトンボみち憲章」にそって、虫や鳥や草花など自然あふれる生きいきとした地域社会のために活動します。



▲ 表彰式でご挨拶される 林市長 (2013年3月)

JFEトンボみち憲章 (生きものとのやくそく)

- I. 虫や鳥や草花と仲よくしよう! (自然との共生)
- II. トンボやいろんな生きものたちがくらす場所にしよう! (生物多様性の保全)
- III. ルールを守って、みんなで楽しく自然とふれあおう! (地域のオアシス)



▲ トンボはどこまで飛ぶか調査 (2012年8月)



京浜の森 ロゴマーク

「トンボはどこまで飛ぶかフォーラム」は、市民の部の環境活動大賞と、生物多様性特別賞、JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所は、企業の部の環境活動実践賞を受賞しました。オメデトウ御座います。

トンボみちなんでも調査隊

皆さんの「？」を調査します。例えば、作物の連作の影響は？、外来植物への対応は？、堆肥の効率的な作り方は？など、皆さんの「？」を事務局へお寄せ下さい。

JR 鶴見線「鶴見小野駅」の駅名由来(シリーズで紹介します)

～「JFEトンボみち」の最寄の駅を調べてみました～

鶴見小野駅は、昭和11年12月、鶴見臨港鉄道の工業学校前停車場として開業。昭和18年7月、国有化(国鉄)に伴い鶴見小野駅と改称し、「停車場」から「駅」に格上げされました。その後、昭和46年3月に無人化となり、昭和62年4月にJR東日本の駅となりました。

それでは、なぜ「鶴見小野」となったのでしょうか。

駅名の変更は、国有化に伴い出来るだけ固有名称を取り入れる必要があったようです。そして所在地である小野町から取った名前となりました。



もう一步踏み込んで……「小野町」という地名はどこから来たのか調べてみました。

小野町の名前の由来は江戸時代末期より明治初期にかけて地元の名主である小野高義・鱗之助親子がこの一帯を埋め立てて新田開発を行い、小野新田と名付けられたところから来ているようです。

【予告】鶴見小野の駅名を調べていると、もっとすごいことが分かりました。次号に続きます。(調査員:相馬)

参考・出典:フリー百科事典「ウィキペディア(Wikipedia)」等

【連載】トンボみちの仲間たち

2月23日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:山田裕子さん)



除草の様子



除草後



白菜の収穫



トンボのやじろべえ



ハクセキレイの来訪



ファンクラブのみなさん

これからの活動予定です。雨天は1週間延期
今月: 3月23日(土) 10時~12時
来月: 4月27日(土) 8時~10時
事前の申込みはいりません。誰でも参加可能。

発行日: 2013年3月19日
発行者: トンボみちファンクラブ事務局
事務局: 〒230-8611 横浜市鶴見区末広町2-1
JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所 環境保全室
Tel045-505-7447, Fax045-505-6546

ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。